



植村記念加賀スポーツセンター

令和3年度 第1回 区長記者会見

9月14日(火) 午前11時00分～

区役所南館4階 災害対策室A・B



板橋区

目 次

令和3年度 第1回区長記者会見

1. 新型コロナワクチン接種の取り組みについて・・・・・・・・・・	1
【予防接種担当課】	
2. 板橋区新型コロナウイルス感染症自宅療養者医療サポート事業 ～24 時間体制で自宅療養中でもまるっと安心～・・・・・・・・	3
【健康推進課・予防対策課】	
3. 区独自の支援で中小企業者等の経営をサポート・・・・・・・・	5
【産業振興課】	
4. G I G A スクール構想の実現～板橋区スマートスクールプロジェクト～・・・・・・・・	7
【指導室・教育支援センター】	
5. 植村スピリットに導かれた、新たなスポーツ文化基地の誕生 植村記念加賀スポーツセンターオープン！！・・・・・・・・・・	9
【スポーツ振興課】	
6. 「文化・教育交流協定」締結 25 周年！モンゴル国交流イベント・・・・・・・・	11
【文化・国際交流課】	
【参考】令和3年度一般会計9月補正予算（案）・・・・・・・・・・	13

1. 新型コロナワクチン接種の取り組みについて

1 板橋区におけるワクチン接種状況について（板橋区：9月8日時点、国・都：9月7日時点）

（1）ワクチン接種状況（国・東京都との比較）

	接種率（人口比）					
	65歳以上		64歳～40歳		総人口	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
板橋区	88.45%	86.73%	68.50%	55.59%	65.00%	53.40%
国	89.37%	87.50%			53.39%	42.36%
東京都	87.01%	84.76%			55.49%	43.32%

（2）年代別接種状況

年齢		70歳以上	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	10歳代	計
人 口		103,528	57,736	76,627	88,289	80,878	81,096	32,790	520,944
1回目	接種人数	92,969	46,831	54,839	55,207	42,036	36,593	9,915	338,390
	接種率	89.9%	81.2%	71.6%	62.6%	52.0%	45.2%	30.3%	65.0%
2回目	接種人数	91,262	43,717	44,612	42,947	27,728	23,791	3,921	277,978
	接種率	88.2%	75.8%	58.3%	48.7%	34.3%	29.4%	12.0%	53.4%

※人口・人数単位：人 ※人口は2021年4月1日現在 ※「10歳代」は12～19歳の人数

（3）今後のワクチン接種に向けて

国からのワクチン供給量を踏まえ、接種希望者が確実に2回接種できる体制を維持しつつ、10月下旬には区民の7割が2回目の接種を完了させるよう進めていく。

2 ワクチン接種に係る区の取り組みについて

（1）これまでの主な取り組み（令和2年12月～令和3年8月）

12月	21日	保健所内に予防接種担当課長を設置
3月	1日	板橋区新型コロナワクチンコールセンター開設
5月	6日	ワクチン接種券（75歳以上）発送
	10日	予約受付開始（区集団接種）
	14日	ワクチン接種券（65歳～74歳）発送 ※1週間前倒し
	15～18日	区集団接種会場（5か所）での接種開始（志村・赤塚健康福祉センター、中央図書館跡地、高島平区民館、旧板橋第九小学校）
	24日	区内医療機関での個別接種開始（約200か所）
6月	10日	民生・児童委員によるワクチン接種勧奨開始
	14日	ワクチン接種券（40歳～64歳）発送
	21日	エッセンシャルワーカーへの職域接種を開始
	28日	ワクチン接種券（16歳～39歳）発送 ※1週間前倒し
7月	3～5日	区集団接種会場（2か所）増設（旧蓮根高齢者在宅サービスセンター、志村コミュニティホール）
	26日	予防接種証明書（ワクチンパスポート）発行開始
8月	10日	ワクチン接種券（12歳～15歳）発送
	12日	50歳代限定の接種予約受付開始
	26日	妊娠中の方及び配偶者への優先接種予約受付開始

主管課・問い合わせ先

健康生きがい部 予防接種担当課

課長 國枝 豊 TEL6905-7837

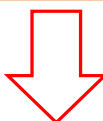
担当者 前川 修 TEL3579-2318

(2) 接種率向上につながった主な取組

4月時点の接種計画

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
接種数（累計）	20,000	120,000	240,000	340,000	440,000	540,000	630,000	720,000
高齢者接種率	15%	50%	70%	80%				
全体接種率	5%	15%	25%	35%	45%	55%	65%	70%

※接種率はいずれも1回目



接種率向上
期間短縮

接種実績及び9月以降の予定

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
接種数（累計）	62,841	210,585	427,820	588,208		
高齢者接種率	23.7%	72.2%	85.8%	88.1%		
全体接種率	9.3%	27.3%	49.7%	62.2%	75%	80%

確定値 → 予定

① 医師会等と協力した安定的な接種体制の確立

- ・ワクチン配送システムの構築（区から医療機関に週2回配送）
- ・ワクチン配送量のきめ細やかな調整
- 【当初】 医療機関が区にワクチン量を発注 → その範囲内で予約を受付
- 【変更】 予約枠を増やした場合はワクチンを増加して対応（配送日の2日前まで調整）

② 消防職員への接種

- ・区内医療機関（日本大学医学部附属板橋病院）と連携し、板橋区内の救急隊員約400名の接種を実施（5月3日～5日）

③ エssenシャルワーカーへの職域接種

- ・区内幼稚園、保育施設等に勤務する職員を対象にした接種を実施

④ 50歳代枠限定の接種予約枠の追加

- ・重症化リスクの高い50歳代枠限定のワクチン接種予約枠を追加（約1,000人分）

⑤ 妊娠中の方及び配偶者への優先接種

- ・妊娠中の方及びその配偶者を対象とした優先接種を実施（約1,000人分）

⑥ 土・日・祝日にワクチン接種を行う医療機関に対し支援金を支給

- ・令和3年度一般会計第2号補正予算にて、843,480千円を計上

(3) その他

現在急増している新型コロナウイルス感染者への対応についても、一人でも多くの区民の安心・安全を守るため、組織体制の強化や必要な予算措置を行っている。

① 保健所の組織体制の強化

8月4日付で保健師53名に兼務発令を行ったほか、事務職員の応援も継続。保健所業務・医療体制ひっ迫に伴い、事務職員1日38名による全庁的な応援体制を9月1日から開始

② 令和3年度9月補正予算（案）

新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う緊急対策等に関する経費5,208,988千円を含む補正予算案を提出予定（P13、14参照）

2. 板橋区新型コロナウイルス感染症自宅療養者医療サポート事業 ～24 時間体制で自宅療養中でもまるっと安心～

事業概要



24 時間体制で自宅療養者をサポート

自宅療養している新型コロナウイルス感染症患者のうち、本事業に同意する方に対して、入院先が決定するまで、または自宅療養が終了するまでの期間、区内の医療機関が連携し、医師による健康観察や救急往診などを行います。24 時間連絡可能な、切れ目ない、継続した医療サポート体制を整備することで、自宅療養者の不安解消と重症化予防を実現します。

事業の内容



自宅療養中の不安を解消

これまで保健所が担ってきた自宅療養者の日々の健康観察を、医療機関との患者情報共有に同意する方に対しては、板橋区医師会や地域の医療機関が連携して行います。本事業では、24 時間体制の医療相談やオンライン診療、往診等を受けることができ、入院にも連携して対応するなど、自宅療養者がいつでも医療を受けられる体制を整備します。

【事業の流れ】

- (1) 保健所は本人の同意を得た上で、板橋区医師会療養相談室を通して、支援医療機関へ情報を提供する
- (2) 支援医療機関は、毎日、健康観察を行い、療養相談室を通して保健所へ報告するとともに、自宅療養者からの相談に対応し、往診などを行う
- (3) 自宅療養者の容態が悪化し、支援医療機関が入院が必要と判断した場合には、保健所と連携し、入院先の手配などを行う

予算（案）
152,000 千円

主管課・問い合わせ先

健康生きがい部 健康推進課

課長 荒井 和子 TEL3579-2310

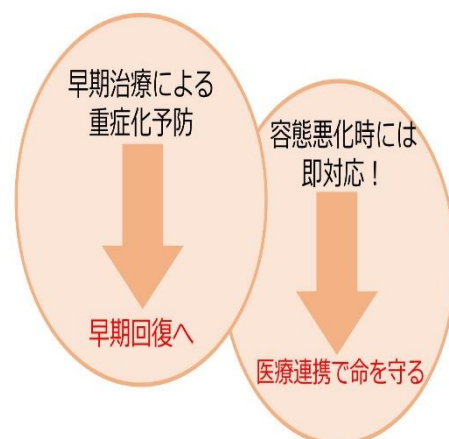
予防対策課

課長 渡邊 愛可 TEL3579-2320

実施の背景・目的

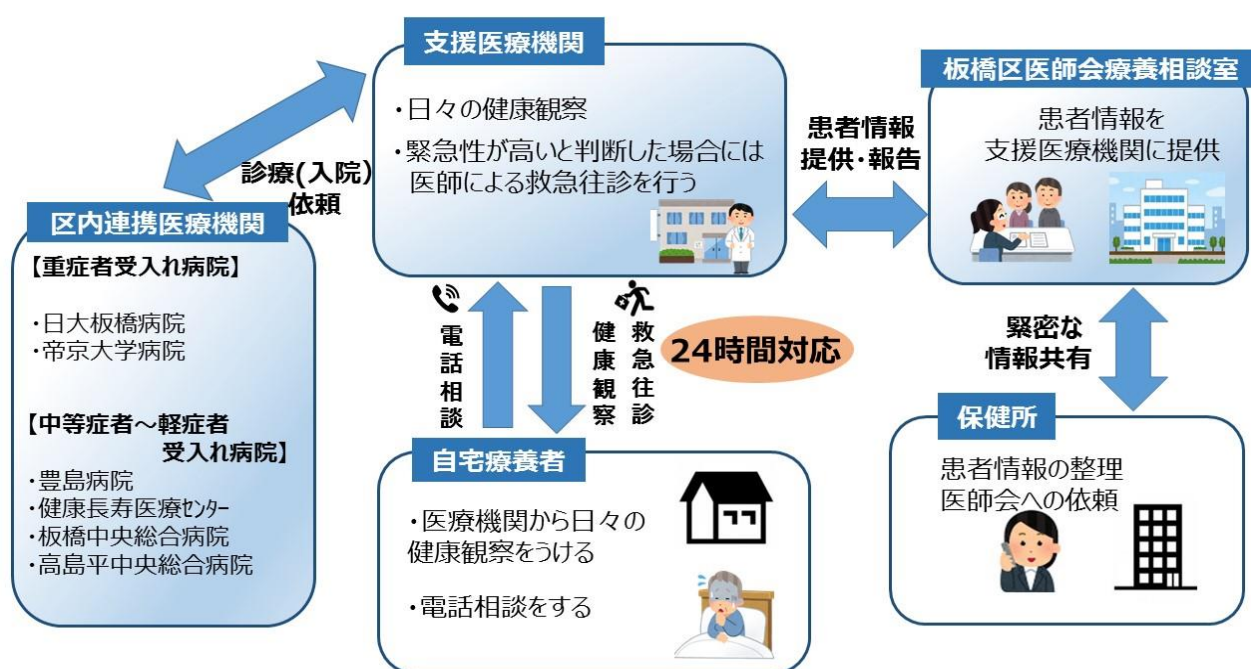
医療連携による迅速な対応で命を守る

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新規陽性者の疫学調査や健康観察、入院先の調整など保健所の業務はひっ迫しています。こうした中で、板橋区医師会や地域の医療機関が連携して、自宅療養者を24時間医療サポート体制で支え、長期化・複雑化する自宅療養者に適切な医療を提供することで、不安の解消につなげます。また、板橋区の誇る豊かな医療資源を最大限に活用し、急変時に適切な医療を速やかに展開できる体制を構築します。



今後のスケジュール

令和3年9月15日 事業開始予定



3. 区独自の支援で中小企業者等の経営をサポート

事業概要



区独自の支援金で中小企業者等を援助

度重なる緊急事態宣言の発出と、それに伴う緊急事態措置により、区内中小企業者等は、売上の停滞、減少が長期化するなど、依然として厳しい状況にあります。そこで区内中小企業者等に対して、区独自の支援金を給付します。これにより、事業継続支援及び従業員の雇用維持を図ります。

事業の内容



【国月次支援金】

緊急事態措置やまん延防止等重点措置に伴う、飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響を受け、月間売上が 2019 年または 2020 年の同じ月と比べて 50%以上減少している中小法人や個人事業者等に支払われる支援金

【東京都感染拡大防止協力金】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業時間短縮及び休業の要請に協力した飲食事業者等の店舗に支払われる協力金

最大 50 万円の事業継続支援金

【給付対象及び要件】

- (1)令和 3 年 4 月から 9 月までのいずれかの月の売上が、対 2020 年(または 2019 年)同月比 20%以上 50%未満減少している中小企業・個人事業者等であること(国の月次支援金を受給している事業者、東京都感染拡大防止協力金の対象者となった事業者は除く)
- (2)確定申告書の主たる売上のある事業所が区内にある個人事業主等、もしくは本店登記が区内にある中小法人等であること
- (3)中小企業基本法第 2 条に規定する中小企業者及び個人事業主等であること(社会福祉法人・組合・一般社団法人などはこの他に要件あり)

【支援金額】

減少率 40%～50%未満の場合 最大 50 万円

減少率 30%～40%未満の場合 最大 40 万円

減少率 20%～30%未満の場合 最大 30 万円

※ 1 事業者 1 回限り

予算（案）

1,260,878 千円

主管課・問い合わせ先

産業経済部 産業振興課

課長 小林 惣 Tel3579-2170

担当者 増淵 広毅 Tel3579-2172

実施の背景・目的

地域経済の回復をめざして

これまで区では、緊急経済対策として、区内中小企業者等に対し、家賃助成、テレワーク等の環境整備、利子補給や信用保証料の助成、クラウドファンディング実施費用の助成をはじめ、区独自の感染拡大防止協力金・一時支援金給付金事業など様々な助成金の給付を実施してきました。さらに、専門家による経営相談、就労支援・人材確保事業など、多方面で区内中小企業者等のサポートを続けています。

しかしながら、度重なる緊急事態宣言の発令により、依然として経営環境は厳しい状況にあります。そこで、新たに区独自の支援金給付事業を実施することで、区内中小企業者等の事業継続・雇用維持に向け支援するとともに、プレミアム付商品券事業などの地域経済活性化事業と併せて、地域経済の回復をめざします。

また、組織改正により経済対策係を設置し、きめ細やかな支援を行っていきます。



今後のスケジュール

令和3年	9月15日	経済対策係設置
	11月～12月	申請受付開始・コールセンター稼働
令和4年	1月31日	申請受付終了

4. GIGA スクール構想の実現～板橋区スマートスクールプロジェクト～

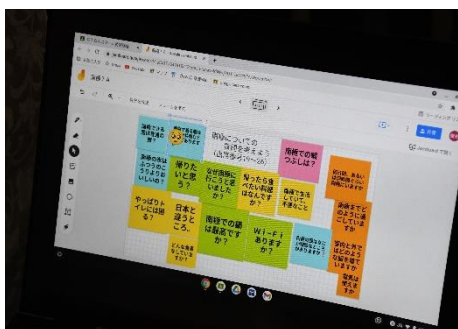
事業概要



板橋区スマートスクールプロジェクト

板橋区版 GIGA スクール構想として策定した指針。ネットワーク、端末整備計画のほか、めざす方向性やサポート体制が示されている。

事業の内容



協働学習ソフト「Jamboard」

手書き入力、画像差し込み、付箋貼付などが可能なデジタルホワイトボード。同時編集ができ、リアルタイムで共有されるため、互いの意見を比較し、再考することで、より深い学びを実現する。

ICT 機器の活用でより深い学びを実現

板橋区スマートスクールプロジェクト基本方針である、一人一台端末と高速大容量ネットワークを活用する授業が、令和3年9月より区立全小中学校でスタートしました。個別学習ソフトや協働学習ソフトなどの教育ソフトウェアを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現をめざします。

パソコンがいつもある新しい学校教育の姿

(1)レベルに合わせたドリル学習

個別学習ソフトで、児童・生徒が習熟度に合わせて問題を選択し、ドリル学習を進めることにより、基礎的な知識を定着させます。また、学習データが蓄積されるため、教員が一人ひとりの学習状況を把握することができ、適切な指導を実現します。

(2)ウェブ上での意見交流

協働学習ソフト上で児童・生徒の意見を共有し、互いの意見を可視化します。他者との違いや共通点を確認・共有しながら授業を行うことで、多様な意見を生かしつつ合意形成を図る力を身につけ、主体的・対話的で深い学びを実現します。

(3)オンライン授業の実施

自宅と教室をつなぎ、学校に行くことができない児童・生徒が学習に参加できる機会を増やします。また、学校が休業となった際にも授業ができる環境を整えることで、学びを止めないよう取り組んでいきます。

予算

1,674,109 千円

(内訳)高速通信ネットワーク環境整備 485,381 千円
パソコン等機器の管理・運用 985,289 千円
ICT 支援員の配置 203,439 千円

主管課・問い合わせ先

教育委員会事務局 指導室

室 長 氣田 眞由美 Tel.3579-2640

教育支援センター

所 長 阿部 雄司 Tel.3579-2189

実施の背景・目的

誰一人とり残さない教育の実現に向けて

区では GIGA スクール構想実現に向け、「板橋区スマートスクールプロジェクト」を令和 2 年に策定しました。Society5.0 時代を生きる児童・生徒にとって、ICT を基盤とした先端技術の活用は必須であり、これまでの一斉指導だけではなく、多様な子どもたちを誰一人とり残すことのない個別最適化された創造性を育む教育の実現が重要です。一人一台端末の環境をさらに有効に活用するために、各校で ICT 推進リーダーを任命し、ICT 支援員を配置することにより、同プロジェクトの充実と推進を図ります。また、新型コロナウイルスの感染が子どもたちにも広がっている中で、感染拡大防止に取り組みつつ、学びの機会を保障します。



ICT支援員業務内容

環境整備支援

- ・ ICT機器を活用する環境整備
- ・ 障害発生時の一次対応
- ・ 日常的メンテナンス支援

授業支援

- ・ 教材の作成支援
- ・ 授業中のICT機器操作補助
- ・ 教員間の情報共有支援

研修支援

- ・ 教員向け研修会の企画、準備、実施
- ・ 機器やソフトウェア活用方法の助言、提案

5. 植村スピリットに導かれた、新たなスポーツ文化基地の誕生 植村記念加賀スポーツセンターオープン！！

事業概要



東板橋体育館・植村冒険館が生まれ変わります

植村冒険館との複合化に向け大規模改修を行っていた、東板橋体育館が植村記念加賀スポーツセンターとしてグランドオープンします。それに先駆け、体育館部分を先行オープンしました。体育館の改修に合わせて、隣接する加賀西公園も駐輪場やブロック舗装などの改修を行いました。

12 月には植村冒険館の開館を予定し、緑に囲まれたスポーツと冒険が融合する施設に生まれ変わります。また、グランドオープンを記念し、オープニングセレモニーや講演会を開催します。

事業の内容



車いすのまま入水できるプール

すべての人にとって快適な施設へ

【体育施設の更新】

アリーナ、トレーニングルーム、温水プール、武道場などの設備を更新しました。アリーナ床はクッション性の高いシート材に変更し、アリーナ全体に明瞭な放送が行えるよう最適な音響設備を導入しました。スタジオは多様なプログラムを実施するために防音対策を施し、プールには車いすのまま入水できるスロープやジャグジーを新たに設置しました。

【植村冒険館の併設】

常設展示室を設け、植村直己の人生の歩みや偉業が分かる「植村直己の冒険年表」や、臨場感あふれる「映像シアター」を設置します。常設展示室以外にも、体育館のエントランスや1階ミニギャラリーなどに植村直己のグラフィックを配置し、「今も『ここ』にいる植村直己」をコンセプトに、施設全体を通じて、植村直己の「チャレンジスピリット」を感じられる展示をめざします。

施設概要

(1)敷地面積：6,242.90㎡

(2)延床面積：7,560.28㎡

(3)施設

3階：植村冒険館展示室

2階：トレーニング室、スタジオ、キッズスペース、トレーニング走路

1階：コミュニティラウンジ、ウエムラチャレンジベース（ギャラリー）、アリーナ、25mプール、子供用プール、ジャグジー

地下1階：第一武道場、第二武道場
会議室

予算

1,947,174 千円

(内訳) 改修工事、初度調弁等

主管課・問い合わせ先

区民文化部 スポーツ振興課

課 長 小田 健司 Tel3579-2650

担当者 小倉 浩和 Tel3579-2651

実施の背景・目的

今までにない新しい施設が誕生

東板橋体育館は建築後 30 年以上が経過し、設備の劣化が進んでいました。また、体育館に隣接する加賀西公園は、入口に並べられた自転車や、ブロック舗装の凹凸が通行の支障となっていました。一方、植村冒険館は常設展示室がなく、展示コーナーが手狭になっていました。そこで、体育館・公園の改修に合わせて、体育館と冒険館を複合化し、緑豊かな加賀西公園やそれぞれの施設の特徴が融合する新しい施設にリニューアルします。加賀藩下屋敷の名残や、植村直己が居住していたという歴史・文化が根差した地域において、絶え間なく挑戦し続ける植村スピリットに導かれた「スポーツ・冒険・緑・歴史」が融合された新たなスポーツ文化基地として、「板橋こども動物園」や今後整備予定の「史跡公園」などの周辺施設とともに、加賀エリアの魅力の創出に取り組んでいきます。植村冒険館のリニューアルには、ふるさと納税制度を利用したクラウドファンディングを令和元年度から令和3年度まで実施し、274 件、10,596,001 円の寄付をいただきました。



植村冒険館内観イメージ

今後のスケジュール

令和3年 9月1日 体育館先行オープン

12月18日 植村記念加賀スポーツセンターグランドオープン

式典・記念講演会

6.「文化・教育交流協定」締結 25 周年！モンゴル国交流イベント

事業概要



25 周年記念！区民向けイベント開催！

モンゴル国と板橋区の「文化・教育交流協定」締結 25 周年を記念し、モンゴル国の文化や交流の歴史を紹介するイベントを開催します。また、学生同士のオンライン交流や、モンゴル文化紹介講座等も実施します。モンゴル国の文化に触れ、身近に感じてもらうことで、区民間での更なる友好促進を図り、多文化共生につなげていきます。

事業の内容



板橋で感じるモンゴル

(1) 展示イベント・レストランフェア

区役所1階において、民族衣装や馬頭琴などモンゴル文化を紹介する展示を行います。また、レストランでは期間限定で、ラム肉等を使ったモンゴル料理を楽しめるフェアを開催します。展示イベントは、自宅からも楽しむことができるよう、360度カメラによる会場風景の発信を行います。その他にも、区ホームページや区公式Instagramに写真・レポートなどを掲載し、モンゴル国に関する情報を発信していきます。

(2) 学生同士のオンライン交流イベント

新モンゴル小中高一貫学校と区内高校の生徒がオンラインで交流します。自身の国や学校について、お互いに紹介することで相互理解を深めます。

(3) モンゴルにゆかりのある講師による文化紹介講座
遊牧民の生活様式や遊び、モンゴル語の簡単な挨拶などをレクチャーする講座を実施します。



新モンゴル小中高一貫学校

予算

3,300 千円

主管課・問い合わせ先

区民文化部 文化・国際交流課

課長 折原 孝 Tel3579-2016

担当者 高橋 奈菜 Tel3579-2018

実施の背景・目的

海を越えたつながりをこれからも

モンゴル国と板橋区の交流は、平成4年に紙不足の問題を抱えていた同国に、ノートや鉛筆を贈ったことから始まります。その後、文化及び人的交流へと発展し、この交流をさらに推進するため、平成8年に「文化・教育交流協定」を締結しました。東京23区でモンゴル国と交流協定を締結しているのは板橋区だけです。コロナ禍において直接の交流事業が減っている中で、オンライン交流やSNS・区ホームページを使った情報発信などにより、モンゴル国の文化や魅力を伝えていきます。これにより、異なる文化や多様性への理解を促進し、モンゴル国との友好の絆をさらに深めていきます。



協定締結20周年
板橋区公式訪問団がモンゴル国訪問



「モンゴル国立交響楽団 JAPAN TOUR 2016」を
板橋区立文化会館にて開催

今後のスケジュール

(1)モンゴル国内学校と区内高校のオンライン交流
9月16日(木)

(2)展示イベント・レストランフェア
10月18日(月)～10月29日(金)



令和３年度一般会計 ９月補正予算（案）

令和３年度第４号補正予算（案） 98 億 2 千 7 百万円

下段()特定財源

No.	款	事業名	事業内容	補正額 (単位：千円)
新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う緊急対策に要する経費				5,056,988 (2,827,202)
1	総務費	避難所整備経費	避難所における感染拡大防止のための物資の購入に要する経費	4,377 (2,164)
2	総務費	文化・国際交流推進経費	コロナ禍で活動制限が続く区内アーティスト支援に要する経費の追加	16,660
3	福祉費	東京都との共同による感染拡大防止対策推進事業経費	高齢者施設の利用者等がPCR検査等を実施した場合の支援に要する経費の追加	11,570 (11,570)
4	衛生費	人件費	新型コロナウイルス感染症対応等に伴う、職員の時間外勤務手当等に要する経費の追加	127,696
5	衛生費	疾病予防・相談事業経費	感染者数の急増に伴う患者移送に要する経費及び区が負担する診療報酬等に要する経費の追加	2,942,051 (2,155,382)
6	衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業経費	接種回数の実績増及び対象者拡大による予定回数増加、接種事業の長期化対応に要する経費の追加	657,486 (657,486)
7	産業経済費	中小企業者事業継続支援金給付事業経費	コロナ禍で経営に大きな影響を受けている区内中小企業者等に対する、区独自の事業継続支援金に要する経費	1,260,878
8	産業経済費	営業時間短縮感染拡大防止協力金給付事業経費	営業時間短縮感染拡大防止協力金の給付に要する経費の追加	28,600
9	産業経済費	(公財)板橋区産業振興公社助成経費	営業活動促進事業助成金、ビジネス環境適応事業助成金に要する経費の追加	32,000
10	産業経済費	観光振興経費	区民まつりの中止に伴う減額補正及び代替事業の実施に要する経費	△ 13,374 (2,000)
11	産業経済費	農業振興対策経費 農業まつり実施経費	農業まつりの中止に伴う減額補正及び代替事業の実施に要する経費	△ 10,956 (△1,400)
緊急かつ必要性の極めて高い事業に要する経費				154,791 (46,742)
12	総務費	個人番号カード発行経費 人件費	マイナポイント事業終了に伴うマイナンバーカード申請勧奨に要する経費	45,447 (45,447)
13	福祉費	介護保険制度運営経費	令和３年度の介護保険制度改正に伴う認定・審査に係るシステム改修に要する経費	28,262
14	教育費	学校運営・教育活動経費	GIGAスクール環境を活用したオンライン授業配信等に要する経費	5,859 (1,295)

主管課・問い合わせ先

政策経営部 財政課

課 長 杉山 達史

Tel3579-2030

下段()特定財源

No.	款	事業名	事業内容	補正額 (単位：千円)
15	総務費 福祉費 衛生費 資源環境費 教育費	サマーカウンセル事業施設維持改修	令和4年度予算サマーカウンセル事業に係る施設維持改修等案件の前倒し実施経費	75,223
国・都支出金返還金				1,854,917 (22,324)
16	総務費	国・都支出金返還金	国庫支出金返還金：153千円 都支出金返還金：1,914千円	2,067
17	福祉費	国・都支出金返還金	国庫支出金返還金：1,221,257千円 都支出金返還金：452,869千円	1,674,126 (22,324)
18	衛生費	国庫支出金返還金		115,935
19	教育費	国・都支出金返還金	国庫支出金返還金：37,409千円 都支出金返還金：25,380千円	62,789
基金への積立金				2,760,304
20	諸支出金	財政調整基金積立金	財政調整基金への積立て	2,760,304
合計				9,827,000 (2,896,268)

令和3年度第5号補正予算（案） 1億5千2百万円

下段()特定財源

No.	款	事業名	事業内容	補正額 (単位：千円)
1	衛生費	新型コロナウイルス検査・医療体制等支援事業経費	入院待機等により自宅療養している新型コロナウイルス感染症患者に対する支援体制の整備に要する経費	152,000 (152,000)
合計				152,000 (152,000)